

建築物ねずみ昆虫等防除業

防除作業従事者研修用テキスト

(平成21年版)

害虫防除業中央協議会

防除作業従事者研修用テキスト（平成21年版）

目 次

第1章 建築物の環境衛生行政

1-1 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（略称 建築物衛生法）	
のあらまし	2
1-1-1 建築物衛生法の制定	2
1-1-2 建築物衛生法の目的	2
1-1-3 特定建築物とは	2
1-1-4 防除の対象になる動物	3
1-1-5 建築物環境衛生管理基準	3
1-1-6 建築物環境衛生管理技術者	4
1-1-7 登録制度	4
1-2 ねずみ昆虫等関係法規	7
1-2-1 食品衛生法	7
1-2-2 学校保健安全法	7
1-2-3 学校給食法	7
1-2-4 労働安全衛生法	8
1-2-5 官公庁施設の建設等に関する法律	8
1-2-6 建築基準法	8
1-2-7 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）	9
1-2-8 薬事法	9

第2章 防除作業従事者の責任と任務

2-1 防除作業監督者と防除作業従事者	12
2-2 防除作業従事者の責任と任務	12
2-2-1 調査する技術	12
2-2-2 報告、提案する技術	13
2-2-3 薬剤、機材を正確に用いる技術	13
2-3 サービスマンとしての心得	13
2-4 日常的な業務実施の心得	14
2-4-1 事前準備	14
2-4-2 作業車による移動	14
2-4-3 現場での心得	15
2-4-4 作業実施後の心得	16
2-4-5 報告書作成の心得	16

第3章 建築物構造や設備とネズミ・昆虫等

3-1 建築物と有害生物	20
3-2 建築物内部で生息する有害生物	20
3-2-1 ネズミ	20
3-2-2 ゴキブリ	22
3-2-3 チョウバエ	22
3-2-4 チカイエカ	24
3-2-5 ハエ・コバエ類	26
3-2-6 その他の害虫類	26
3-3 建築物外部から侵入する有害生物	27
3-3-1 走光性侵入昆虫	27
3-3-2 歩行性侵入節足動物	27
3-3-3 その他	27

第4章 ネズミ害虫防除概論

4-1 ネズミ・害虫防除の必要性	30
4-2 防除とはどのようなことをいうのでしょうか	31
4-3 アイピーエム（IPM）	31
4-4 PCOの役割	32
4-5 ネズミ害虫防除の方法	32
4-5-1 環境的な対策	32
4-5-2 施設改善による対策	33
4-5-3 薬剤による対策	33
4-5-4 器械・器具による対策	34
4-5-5 生物を利用する対策	34
4-6 ネズミ害虫防除の進め方	34
4-6-1 IPMで行うべきこと	34
4-6-2 進め方の基本	35
4-6-3 生息実態調査	36
4-6-4 実施計画	36
4-6-5 防除作業	36
4-6-6 効果判定	37
4-6-7 事後処理	37
4-6-8 報告	37
4-6-9 維持管理水準	37

第5章 殺鼠剤の種類と使用法

5-1 殺鼠剤とは	40
5-2 殺鼠剤に必要な条件	40
5-2-1 毒力	40

5-2-2	喫食性	40
5-2-3	安全性	41
5-3	殺鼠剤の長所と欠点	41
5-4	殺鼠剤の成分	41
5-4-1	急性殺鼠剤	41
5-4-2	抗凝血性殺鼠剤	42
5-5	殺鼠剤の剤型	43
5-6	殺鼠剤の抵抗性	43
5-7	忌避剤	44
5-8	殺鼠剤の安全使用	44
5-9	事後処理	44

第6章 殺虫剤の種類と使用法

6-1	殺虫剤の意義と役割	48
6-2	法律上の位置づけ	48
6-2-1	医薬品・医薬部外品の殺虫剤	49
6-2-2	動物用医薬品・医薬部外品の殺虫剤	49
6-2-3	農業用の殺虫剤	49
6-2-4	生活害虫用殺虫剤	49
6-2-5	シロアリ駆除用殺虫剤	50
6-3	殺虫剤の名称	50
6-4	殺虫剤の毒性	50
6-5	殺虫剤の有効成分	51
6-5-1	塩素剤	51
6-5-2	有機リン剤	51
6-5-3	ピレスロイド剤	51
6-5-4	カーバメイト剤	52
6-5-5	昆虫成長制御剤	52
6-5-6	その他の有効成分	52
6-5-7	忌避剤	52
6-6	殺虫剤の効力	53
6-7	殺虫剤の剤型	54
6-8	処理方法	55
6-8-1	残留処理	55
6-8-2	毒餌処理	55
6-8-3	ULV 処理	56
6-8-4	煙霧処理	56
6-9	殺虫剤使用上の注意	56
6-10	殺虫剤の効果が上がらない理由	56
6-11	殺虫剤の廃棄方法	57

第7章 防除に使用する機器類

7-1 調査用器具	60
7-1-1 照明器具	60
7-1-2 捕獲用具	61
7-1-3 顕微鏡	64
7-1-4 その他の調査器具	65
7-2 安全器具	67
7-2-1 防護用器具	67
7-2-2 事故防止用の器具	68
7-3 防除用機器	69
7-3-1 散布（散粉）用機器	69
7-3-2 捕獲器具	73
7-3-3 配置器具	75
7-3-4 その他の防除機器	76

第8章 防除作業の安全管理

8-1 安全に対する心構え	80
8-2 薬害事故防止	80
8-2-1 薬剤の保管	80
8-2-2 薬剤の調整	80
8-2-3 薬剤使用時の注意事項	81
8-2-4 中毒時の対応	82
8-2-5 人や環境への配慮	82
8-3 火災事故発生防止	84
8-4 作業事故防止	85
8-5 汚損・破損防止	86
8-5-1 薬剤による影響	86
8-5-2 作業による影響	87
8-6 交通事故防止	87

第9章 ネズミの生態と防除

9-1 種類と生態	90
9-1-1 建築物に生息するネズミ	90
9-1-2 生態	90
9-1-3 被害	91
9-2 対策の進め方	93
9-2-1 生息調査法	93
9-2-2 具体的な対策	96
9-2-3 事後処理	99
9-2-4 効果判定	99

9-3 維持管理水準	100
------------	-----

第10章 ゴキブリの生態と防除

10-1 種類	102
10-1-1 主なゴキブリの形態的特徴	102
10-2 生態	103
10-2-1 生活史	103
10-2-2 習性	104
10-3 対策の進め方	105
10-3-1 事前調査	105
10-3-2 防除計画	108
10-3-3 防除方法	108
10-3-4 効果判定	110
10-3-5 報告	110
10-4 維持管理水準	110

第11章 蚊の生態と防除

11-1 蚊の種類と生態	114
11-1-1 主な種類	114
11-1-2 生態と習性	114
11-2 対策の進め方	115
11-2-1 発生種の調査	115
11-2-2 防除方法	116
11-2-3 処理に当たっての注意事項	117
11-2-4 効果判定	117
11-3 維持管理水準	117

第12章 ハエ・コバエの生態と防除

12-1 種類と生態	120
12-2 対策の進め方	122
12-2-1 発生種の調査・同定	122
12-2-2 防除方法	122
12-2-3 処理に当たっての注意事項	123
12-2-4 効果判定	123
12-3 維持管理水準	123

第13章 ダニの生態と防除

13-1 ダニの種類	126
13-1-1 ダニの生態	126
13-1-2 ダニの問題点	128

13-2 対策の進め方	130
13-2-1 対策を進める上での問題点	130
13-2-2 調査方法	131
13-2-3 防除方法	132
13-2-4 効果判定	134
13-3 維持管理水準	135

第14章 その他の害虫の生態と防除

14-1 建築物内で見られるその他の害虫類	138
14-2 食品から発生する害虫	138
14-2-1 主な種類	138
14-2-2 対策の進め方	139
14-3 木材から発生する害虫	139
14-3-1 主な種類	139
14-3-2 対策の進め方	140
14-4 畳、敷物から発生する害虫	140
14-4-1 主な種類	140
14-4-2 対策の進め方	141
14-5 ネコノミ	141
14-5-1 習性	141
14-5-2 対策の進め方	142
14-6 トコジラミ	142
14-6-1 習性	142
14-6-2 対策の進め方	142
14-7 アタマジラミ	143
14-7-1 習性	143
14-7-2 対策の進め方	143
14-8 イエヒメアリ	143
14-8-1 習性	143
14-8-2 対策の進め方	143
14-9 カメムシ類	144
14-9-1 主な種類	144
14-9-2 対策の進め方	144
14-10 ユスリカ類	145
14-10-1 主な種類	145
14-10-2 対策の進め方	145